

社会参加で生きがいづくり

さいたまシルバー

迎春



「岩槻中心市街地より望む大宮市街と富士山」

目次

- 理事長挨拶・市長挨拶2～3
- 事業実績・安全だより4～5
- 女子会活動報告・「あゆみ」・各種講習会 6～9
- 就業会員の声・発注者の声10～12
- 地域班活動・親睦互助会13～15
- 事務局より・表紙の言葉・編集後記 16

第37号

2020.1.1



公益社団法人 **さいたま市シルバー人材センター**

〒330-0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1

さいたま市大宮ふれあい福祉センター 内

Tel:048-669-0303 Fax:048-669-0305

さいたま市シルバー

検索

<http://saitama-sjc.or.jp/>



新年のご挨拶

公益社団法人 **さいたま市シルバー人材センター**

理事長 佐伯 鋼兵

新年あけましておめでとう
ございます。

会員の皆様ならびに、センター事業に広くご支援・ご協力を賜っております関係者の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年中は、当センターの事業運営につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本格的な人口減少時代を迎え、少子高齢化が懸念される中、働く意欲のある高齢者が長年培ってきた知識や

経験を活かし、事業者の抱える人手不足や求人難の問題解決に貢献することが、シルバー人材センターには期待されているところです。

近年、企業の定年の引き上げや65歳までの継続雇用制度の導入が大きな要因となり、センター会員の平均年齢は全国的に見ても年々高齢化しております。このような中、これまで以上に高齢会員でも就業可能な仕事を増やすための開拓活動に努めていくことが重要であります。一方で、就業は望まないものの、

会員同士の交流やボランティア活動などを通して社会参加を希望する会員も増えていることから、高齢になっても活躍できる新たな会員制度の導入に向けた検討を始めたところです。

また、介護や育児等、今後ますます女性会員へのニーズが高まるものと考えられますので、女性会員の増強についても引き続き取り組んでまいります。

シルバー人材センターは、地域に密着した就業や活動を通して、高齢者の「居場所」

と「出番」を創出し、「生涯現役社会」の実現に寄与しているところですが、まだまだ働く意欲のある高齢者は多く潜在しているとされております。当センターでも就業開拓をはじめ、更なる会員拡大を目指して様々な取り組みを実施することといたしております。そのためには、お客様はもとより会員の皆様にとって「魅力あるセンター」となるよう努力してまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、新しい年が皆様にとって明るく活力と希望に満ちた幸多い年となりますことを心から祈念いたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

さいたま市長

清水 勇人

新年、明けましておめでとうございます。

シルバー人材センター会員の皆様をはじめ、関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃からさいたま市シルバー人材センターの皆様方には、市政全般にわたる格別の御協力と御支援を賜り、感謝と御礼を申し上げます。

さて、日本の100歳以上の高齢者は7万人を超え、本市でも100歳以上の高齢者が毎年増加しており、近い将来50万人を超える見込みです。以前に

比べ高齢者の身体機能も若くなってきたり、人生100年時代と言われております。これからの時代、定年退職後や子育てを終えた後の「セカンドライフ」をいかに自分らしく歩んでいくかということが大変重要です。

そこで、本市では、セカンドライフにおいて、継続して社会参加することを支援するため、昨年9月2日にセカンドライフ支援センター（愛称「り・とらいふ」）を開設いたしました。セカンドライフ支援センターでは、セカンドライフに関する様々な情報をワ

ンストップで提供し、地域社会への参加を支援していくとともに、シルバー人材センターを始めとする関係機関との連携により、高齢者の社会参加を促進してまいります。

また、本市は、昨年7月1日に内閣府から「SDGs 未来都市」として、埼玉県内の自治体で初めて選定されました。SDGsは国連サミットで採択されました「誰一人取り残さない持続可能な社会を実現するための2030年を年限とする17の国際社会共通の目標」であります。

SDGsの理念である「誰

一人取り残さない持続可能な社会の実現」を踏まえ、将来にわたって誰もが住みやすい、また、住み続けたいと感じる社会を実現するための各事業を着実に行ってまいります。

シルバー人材センターにおかれましては、これからも高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って活躍できる環境づくりに引き続き取り組んでいただくとともに、会員の皆様が長年培ってこられた技術や経験を活かしていただくことを期待しております。

最後になりますが、会員の皆様が新たな年をお元気で御活躍され、より佳き年となりますようお祈り申し上げますとともに、シルバー人材センターのますますの発展を御祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

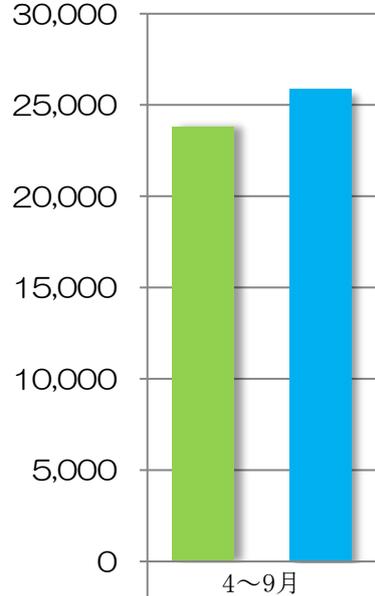
令和元年度上半期実績

昨年度と比べ、上半期の契約金額は2.3%増、金額にすると約2千万円の増となっています。

その他、今年は選挙が多く開票事務も事業実績に大きく貢献して

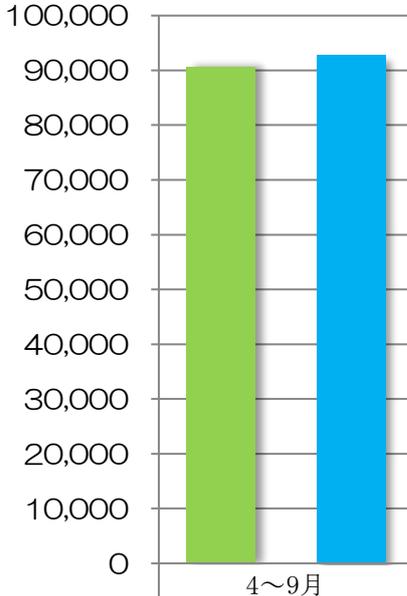
なかでも植木剪定や除草作業は天候に恵まれ、また前年度は記録的な猛暑だったこともあり、前年比で8.7%の大きな伸びを示しています。

契約金額
(植木・除草)



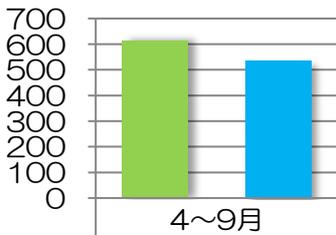
■前年度	237,880,937
■当年度	258,610,802

契約金額
(請負・委任・派遣)



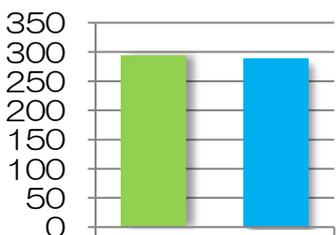
■前年度	906,587,430
■当年度	927,503,846

入会者数



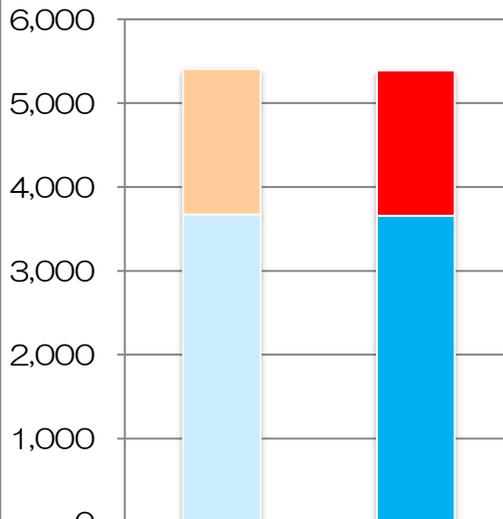
■前年度	614
■当年度	537

退会者数



■前年度	293
■当年度	288

男女別会員数



	前年度	当年度
合計	5,407	5,390
女	1,733	1,734
男	3,674	3,656

います。9月末の会員数は5,390人で前年比17人の減となりました。9月までの入会者数を見ると前年と比べて大幅に減少しています。

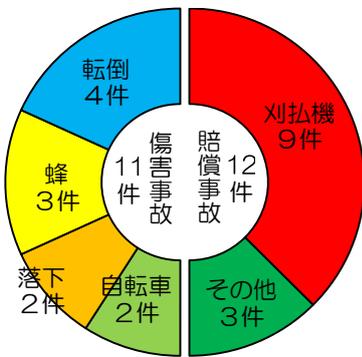
令和元年度末の中期計画での目標値は5,350人となっております。年度末には退会者が増える傾向がありますので、一層の入会促進、退会抑制を行う必要があります。

安全だよ

令和元年度上半期事故状況

	傷害	賠償	合計
当年度	11	12	23
前年度	13	3	16
増減	△2	9	7

令和元年度上半期事故状況は左記のとおりです。
 前年度と比較して、賠償事故が大幅に増加しています。
 賠償事故では刈払機による事故が9件と非常に多く発生してしまっています。刈払機による事故は石跳ねによるものばかりでなく、刃が車のタイヤや水道管などに接



触して破損させるといった事故も起きています。刈払機事故の対策は急務と言えます。
 10月には臨時の安全委員会を開催し、短期的な対策として安全パトロールの強化、安全研修の実施、長期的には刈払機を使った就業の仕方の見直しを検討していくこととしました。
 傷害事故については減少しているものの、半期で10件を超える事故が起きています。
 事故分類としては転倒が4件、除草作業や清掃作業中にハチに刺された事故が3件、自転車事故が2件、植木剪定中の脚立・三脚からの落下が2件でした。

高齢者自転車交通安全講習会

ブリヂストンサイクル株式会社のご協力のもと、高齢者自転車交通安全講習会を平成29年度から実施しています。

今年度は10月18日に浦和事務所にて、午前の部・午後の部の講習を実施し計46名が参加しました。

初めに「自転車を安全に乗るために」というテーマで講義が行われました。加齢による能力低下を認識すること、自転車安全利用五則を守ることなどをお話いただきました。

講義に続いてシミュレーター危険予測体験とバランス体験、歩行速度測定を行いました。シミュレーターでは車道の通行など危険な状況を体験し講師から指導を受けました。バランス体験では開眼片足立ちで何秒立っていただけるかを測りご自身の平衡感覚を確認しました。

- 〈安全ルール〉
- 一、飲酒運転は禁止
 - 二、二人乗り・併進走行は禁止
 - 三、夜間はライトを点灯
 - 四、傘差し・携帯電話・イヤホン等
使用運転禁止
 - 五、信号遵守、交差点での一時停止と
安全確認

- 〈自転車安全利用五則〉
- 一、自転車は車道が原則、
歩道は例外
 - 二、車道は左側通行
 - 三、歩道は歩行者優先で
車道寄りを徐行
 - 四、安全ルールを守る
 - 五、子供はヘルメット着用

参加者には安全運転の重要さ、加齢による能力低下を再認識していただきました。

女子会活動報告



女子会とは、さいたま市シルバー人材センターの女性会員自らが主体となり交流の場を設け、会員活動を活性化させることで、女性会員の入会促進、仲間づくり、地域会議や定時総会の出席者数の増加などにつなげるため実施しているものです。

今回は大宮事務所で11月6日に行われた「健康体操で健康寿命を延ばしましょう」フレイル予防のご紹介」をご報告します。

「フレイル」とは、高齢期に筋肉や認知機能が低下した状態で、健常から要介護へ移行する中間の段階を言います。

フレイル予防研修を受けた当センターの会員がインストラクターとして、フレイルとは何か、フレイル予防のための適切な食事や運動について説明し、その後家庭でもできる健康体操を行いました。



体操の後はお茶会となりおしゃべりに花が咲きました。

その他にも下記の通り各事務所で女子会を実施しています。ご興味のある方はぜひご参加ください。



大宮事務所

7月29日 お茶会&

ウッドビーズネックレス作り

会場・生きがい活動センター

11月6日 健康体操で

健康寿命を延ばしましょう

会場・生きがい活動センター

浦和事務所

1月21日予定 美と和

ハンドマッサージ&折紙&お茶会

会場・浦和事務所

与野事務所

8月29日

簡単褒められスイーツ会

会場・上落合公民館

11月7日 お茶会&てっぱく

会場・鉄道博物館

岩槻事務所

10月18日 ランチ会&盆美

会場・盆栽美術館 他

傾聴ボランティアグループ「あゆみ」が
内閣府より社会参加章を受章しました

傾聴ボランティア活動

内閣府より受章の栄誉

コーディネーター 太田 順治

傾聴ボランティア「あゆみ」は当センターの社会貢献事業の一つとして、行政、社会福祉協議会、社会福祉関係団体などと連携して活動しています。

今般、傾聴あゆみは、内閣府より、「エイジレス・社会活動事例の模範活動」として賞状と記念の楯を受章しました。内閣府が推奨するシニア世代の社会参加活動の優良団体の一つとして選ばれ、平成29年の厚生労働大臣賞「ボランティア功労者賞」に続く、栄えある受章になりました。

傾聴あゆみは、14年前の平成18年、家事支援の仕事のあとのボランティア活動としてスタート。関

係者は「高齢者はお仕事の支援の

あとのお話も非常に楽しみにしていた」と当時を振り返る。発足当時は、会員38名、訪問先は個人宅

を中心に数か所。現在は会員数約350名、訪問施設47件、個人宅約80

件、延べ訪問日数も月間700日を超える活動に発展。ほとんど毎日、

どこかの施設・個人宅で傾聴あゆみ会員が活動している状況です。

「傾聴」とは、相手に寄り添い、お話しを共感しながら聴く活動です。日頃話す機会が少なく、身体的に社会生活から孤立しがちな高齢者や障がい者などへの「お話し相手」となって寄り添っています。

訪問施設の一つ「愛の家グループホームさいたま土呂」の施設長の谷川富実さんは「2年前から訪問いただいている。入所者は月2回の訪問を楽しみにしている。笑

顔いっぱい話している利用者を見るたびに、私も幸せを感じます」と感謝の言葉を語られる。

傾聴あゆみ会員は、当センターが開催する特別な養成講座（40時間講座）を履修して傾聴ボランティア活動を開始。さらに、傾聴スキル向上のために、傾聴スキルアップ講座や勉強会・情報交換会なども行っています。

傾聴あゆみの活動が広く認められ、一定の社会的評価を受けることでシルバー人材センター自体の広報活動及び会員増強にもつながると自負しています。

傾聴あゆみは、多様な知識と経験を持ち、実際の行動力もあります。また、同じボランティア精神を持ち、仲間意識も強い。今後も、傾聴訪問をはじめ、地域社会や会員自身も元気になれる活動を積極的に進めていきたいと考えています。

シルバー関係者のご支援、ご協力を引き続きお願いします。

社会参加章の楯（左）と賞状（右）



受章を喜び、傾聴あゆみ役員・会員

各種講習・研修会

次のような講習や研修が、本年度上半期に実施されました。

Pick Up

実施された研修・講習の中から一つを取り上げて紹介します。

コンプライアンス研修

コンプライアンス研修は会員のコンプライアンス（法令遵守）意識を高めるため、シルバー人材センター事業に精通する檜垣直人弁護士を講師にお迎えし、毎年実施しています。

「違法適法行為について」というテーマで1時間半にわたり、公益法人の会員としての立場や、実際にあった問題事例を、ユーモアを交えながら講義していただきました。

参加した会員のアンケートからは「先生の話聞いて自分の立場がよく理解できました。内容も楽しく興味が持てるような話に聞き

入ってしまいました。」「もっと多くの方にこの研修を受けてもらいたい」と大変好評いただいています。



会員研修・講習

シルバー人材センター主催の会員を対象とした技能及び資質向上を図る研修ならびに講習です。

① **植木職人養成研修**

6月13日～18日 49人参加
会場・浦和事務所
障害者交流センター



② **パソコン講習**

第1回 初めてのパソコン
6月11日～13日 11人参加
会場・与野事務所

第2回 ワード入門

6月25日～27日 8人参加
会場・与野事務所

第3回 エクセル入門

7月9日～11日 6人参加
会場・与野事務所

③ **刈払機取扱い研修**

7月9日 21人参加
会場・七里総合公園



④ 救命講習

9月5日 14人参加
9月12日 20人参加
会場・ふれあい福祉センター



⑤ 接遇研修

9月10日 29人参加
会場・ふれあい福祉センター



⑥ コンプライアンス研修

9月5日 47人参加
会場・ふれあい福祉センター

高齢者生きがい

活動センター事業

さいたま市内の高齢者に対し、各種研修及び技術指導を行うことにより就労を支援します。高齢者の豊かな経験、知識及び技能を活用した地域活動を支援し、生きがい活動の場を提供することにより、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを促進するための事業です。

① パソコン講習

第1回 初めてのパソコン
7月3日～6日 14人参加
第2回 ワード入門
8月7日～10日 15人参加

② 傾聴ボランティア養成講座

6月21日～7月9日
46人参加



講習会・研修会のお申込みについて

各種講習会、研修会についてのご案内は、毎月発行している「会員ニュース」や「市報さいたま」に掲載されます。

お申込みについては、講習会や研修会ごとに内容や会場が異なりますので、それぞれご確認のうえ、掲載された申込み先までお願いいたします。

受講希望者が定員を超えた場合は抽選となりますが、就業に必要な技能と知識を身につけられますので、皆様の積極的な参加をお待ちしています。

就業会員の声

大宮会員の 坂上 二郎さん

平成23年にシルバーに入会して以来、除草作業に専念し、現在チームリーダーとして活躍されておられる坂上二郎さんにお話を伺いました。

『きれいな仕事、お客様がまた注文して下さるような仕事』を motto に、チームを取りまとめようと努力しているそうです。

「まず段取りが大切です。どこから着手して、どの方向に進んでゆくか。各人ばらばらではなく、数人まとまって作業をする。そうすると作業の進み具合が分かり、作業意欲も湧き、仕上がりもきれいです」。

「勿論班員の健康状態を常に把握し、定期的な給水休憩は欠かせません」。

「刈り払い機を使う作業など、本人及び周囲の人や物に危害が及ぶと思つた時には、すぐに注意します。事故が起きてしまつてから

では遅いからです。人に嫌がられるのもリーダーの仕事です」。

坂上さんの手帳には、お客様との見積もりや、打合わせ内容、作業班の編成や仕事量の計測結果、などが細かい文字でぎっしりと書き込まれていました。非常に真面目で几帳面な性格とお見受けしました。

写真撮影の時、趣味をお聞きしましたところ、「数年前転倒して頭を打つたので、以降は自重して、家でゴロゴロが趣味」と笑顔が返ってきました。

(取材・後藤編集委員)



浦和会員の 齋藤 明さん

JR浦和駅西口のアトレ浦和北駐輪場に、就業されている齋藤明さんを訪ね、お話を伺いました。

平成31年の3月に定年を迎え、7月にチラシを見て応募し、その月に会員となりました。それから2ヶ月後の9月下旬に駐輪場の管理作業に着任。

それまでは、市内の小学校の夏休みのおり、学童保育など学校の仕事に携わっていたそうです。

就業時間は7時から10時までの3時間、そのうちピークは7時30分から8時30分。主に駐輪場の整理と置き場への誘導、ときには利用者へ注意を促すこともあ

るそうです。
当初は改札に近い置き場に駐輪が集中していて、止め方は乱雑で歩く隙間もないほどでした。現在は「利用しやすくなった」と声を掛けられることもあり、それが「大きな励みです」と言われました。
就業形態は2人体制で月々金、週単位の交代です。

「おはようございます。いってらっしゃい」など、朝の挨拶と丁寧な対応をします。

最近では「子供さんからハグやハイタッチをされると最高の喜びを感じます」と満面の笑みでお話されました。

仕事のない休日は、週3回スポーツセンターで奥様と汗を流されるスポーツ好きな方ですが、通院治療もきちんと受け、節制されるご苦労などを聞き、意思の強さと健康の大切さを感じさせられました。

(取材・吉川編集委員)



岩槻会員の弦間 登さん

弦間さんは、岩槻城址公園内の第3駐車場で、駐車エリアの横に展示されている特急ロマンスカー『きぬ号』の案内と安全管理の仕事をされています。

引退しても東武電車のロマンスカーは子供達や子供づれの家族に人気があり、夏休み期間中（全日オープン）は一日300人程度が訪れ、多い日には500人にもものぼるとのことです。

弦間さんは85歳、とても元気で土曜・日曜の朝10時から15時まで、一日4時間の仕事を2人で日毎に交代で従事、キャリアは10年になったとのこと。

一番下のお孫さんはもう小学三年生。「以前に孫達が何度も見学にきていた時のように、子供達に優しく接している」と言っています。

見学に来た子供達は運転席の操作ハンドルやパネルボタン類に興味津々。「その内、はしゃいで車内を走り回ることもあり、ころんだりしないよう注意します。階段手



(取材・菅野編集委員)

すり部から脚を踏み外すこともありネットを張って安全対策をしました。ロマンスカー入口ドアは自由に開閉できていましたが、事故防止に、チェーンを付けてます。「枯れ葉の舞い散る秋の季節には、周囲の掃き掃除を丁寧に行い、見学者が気持ちよく過ごせるようにしています」。

弦間さんの趣味は読書とスポーツ観戦とのこと。野球は大宮球場の他、東京ドームや西武球場にも足を運んでいるとのこと。

NPO法人 あい保育

訪問看護室 様

0歳児から2歳児まで19名をお預かりする「あい保育」の代表理事（園長）梅田良恵さんをお訪ねしました。

発注者の声

最近保育園への入所希望者が多く、待機児童が増加しているなどと聞きます。「たくさん受け入れられればよいのですが、幼児、特に0〜2歳児保育には『愛情たっぷり』が大切で、幼児数に合った保育士の人数などに厳しい制約があり、小規模保育施設としては、この人数が精一杯ですね。「この年齢は個人差が大きく、例えば食事にしてもミルク、離乳食、普通食と児童毎に違います」とのことでした。

取材は園児達のお昼寝の時間帯で、保育士さんが交代でほっと一息入れるところですが、記帳や衣類を畳むなど気が休まる暇がなさそうです。「昔は掃除なども自分達



(取材・後藤編集委員)

でやっていました。朝の開園が早く、掃除アルバイトを募集しても応募がなく困っていました。数年前からシルバーに園内外の掃除をお願いし、大変助かっています。窓ガラスを拭いていると園児から話しかけられたり、話しかけたりと、園になじんでもらっています。「先日は公民館で『高齢者と親子ふれあい祭』があり、園児が法被姿で花笠音頭を踊りました。園児達がアツという間に成長してゆくのを見られるのは、この仕事だからですね」。

園長先生の目は母の目でした。

株式会社 Lステージ 様

シルバー人材センターの事務所から「いい人ですよ」と紹介され、JR与野駅からほど近いLステージを訪ねると、鈴木秀幸さんが優しい笑顔で迎えてくれました。

頂いた「会社概要」によると、業務内容は、不動産の売買、仲介、有効利用の企画、管理、マネジメント、開発事業の計画推進など、不動産全般の幅広い分野にわたっています。

シルバー人材センターに委託しているのは、主にマンションの共用部分の清掃業務。現在18棟のマンションをシルバーの17人が担当しているそうです。

「シルバーさんに委託したのは15〜16年前からになります。それまで民間の清掃会社に委託していました。清掃会社と違い、シルバーさんは皆さん近くにお住まいですから、就業報告の判子を貰いに会社に時々お見えになります。その時に業務の話を聞いたりできますので、とても都合よいです」。

鈴木さんは「お互いに顔が見える安心感」を強調され、「粗大ごみが不法投棄されている事を知らせてくれるなど、シルバーに依頼して助かっています」と話されました。

鈴木さんは同社に入ってから2年、その前は大手の不動産会社に勤めておられました。ふじみ野市出身で、現在はさいたま市の大和田で奥様と2人暮らし。前職でも、さいたま市や北関東を担当され、当地周辺は知り抜いておられます。

会社の「L」はLIFE（ライフ）とのこと。増子晃社長の名前だそうです。「これからもシルバーさんにお願ひしたいと思っています」と有難いことを言っていました。

（取材・馬場編集委員）



株式会社 プラコー 様

岩槻区の笹久保地区に本社がある株式会社プラコー黒澤秀男社長と総務・経理部長の早川恵さん、主任の木暮洋子さんを訪ねました。

プラコーは大型の多層インフラーション成形機やブロー成形機、各種環境機器等を設計・製造し、海外へのアフターサービスまで行う機械メーカーです。ソリット型CADを駆使して設計、5軸マシニングセンター等の大型工作機械で主要パーツを精密に機械加工し、自社組み立てしています。区内では数少ない上場企業で、広い事務所や工場内外も奇麗で、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）が徹底されています。

見通しのよい事務所中央にオープンなメイン会議場があり、そこで開口一番、黒澤社長より、「シルバーの植木班の方々に植木の剪定をして頂くようになってから、会社業績が一層よくなっている」と感謝の声を頂きました。約600坪の敷地周囲に、約130本のカイツカイ

ブキ（ヒバの改良品種）が植えられており、3年前からシルバーに剪定を委託してきたとのこと。

「以前は業者に委託していた植木が傷んできました。シルバーの方々は仕事が丁寧で、奇麗に刈り込まれ植木は活き活きし、社員の士気向上に繋がっている」と言われます。剪定作業は定期的には、3〜4名で行われ、剪定屑もその日の内に奇麗に処理されているとのこと。シルバーの仕事に感謝され、りっぱな会社の姿勢を感じました。

（取材・菅野編集委員）



自慢の植込み前で黒澤社長と総務の方々

地域班活動

中央区 第二地域

地域長 岩瀬 忠

中央区第二地域は、7班153名の会員で日々活動を行っています。

本年度の地域会議は予定通り二回実施しました。春は看護師による熱中症対策等の講習会を開催し、会員30名の参加で、講話と実技指導を実施しました。

秋の地域会議は、例年ですと警察署から交通課の職員を招いて、お年寄りの交通安全や振り込め詐欺等、話題性のある講習会をお願いしていましたが、本年度については、何か目新しいものを実施したいとの思いが昨年度からあり、班長会議を開催する中で検討を重ねてきました。結果、本年度については、さいたま市の「出前講座」の中から一つ選び開催することとなりました。10月31日、会員27名の参加のもと、防災課職員二名により、『はじめよう！我が家の防災』

を実施しました。

特に本年度は、10月に台風が三つ上陸しましたが、幸い私達が住んでいる町では被害はありませんでした。講習会の内容を理解し、今後は自分でキッチンと対応したいです。

本年度、最後の奉仕活動は公園の清掃活動を行い、会員の皆様の協力により一年間の活動ができ、今後も地域の活性化が図れる第二地域にしたいと思っております。



岩槻区 第一地域

地域長 高橋 清

岩槻区第一地域は城下町として人情味があり、あたたかい会員が多い地域です。現在会員数は約240名で活躍しております。

今回は先日、奉仕活動として実施したゴミ拾いの状況等をまとめました。

鶴川所長の挨拶の後、岩槻駅前からシルバー事務所まで約2 Kmの間を、26名の参加で行いました。

活動中、市民から有難う、お疲れ様等の声を掛けられ、やりがいがありました。今回は台風で雨が多く、特に小枝やタバコの吸い殻が目立ちました。初参加の会員も、やってよかったと私に声を掛けてきました。最後はゴミの分別に苦勞しましたが、事故もなく終了、所長からの「ねぎらい」の挨拶で、参加者の疲れもとれました。皆さん、お疲れ様でした。

これからは、会員の交流として色々な活動を提案し、会員の入会に繋げていきたいと思っております。

す。また、会員の増員へのPRとして、自治会掲示板や回覧で広報していきます。

また、事故防止と認知症予防として、岩槻事務所にて健康体操を行っています。毎月第二・第四の水曜日、13時30分よりサポーターがお待ちしていますので気軽に立ち寄って下さい。この健康体操は100歳体操といい、重りを付けて行う体操です。健康体操により、岩槻区第一地域は事故発生件数も一番少ないと思っています。これからもシルバーを愛しましょう。



親睦互助会

「日帰り旅行」

大宮支部 奥田 善七

大宮支部「ふれあい会」は11月13日快晴に恵まれた中、60名の参加者で朝7時30分にシーノ大宮前をバス2台で出発しました。

最初はキリンビール横浜生麦工場を見学しました。一番搾りの生産工場を見ても作業者が見当たらず、全自動で管理されたきれいな工場、見学通路は広く良いイメージでした。

お目当ては見学後の試飲タイムです。そこは大きなビアホールで、一人ジョッキ3杯、一番搾り、黒ビールとプレミアムビール（普段市販されず贈答時期のみ出回る）の3種類でした。

昼食は横浜中華街で、8人毎での回転テーブルで、中華料理を堪能しました。

午後はアメリカ海軍や海上自衛隊の艦船を間近で見られる横須賀

軍港めぐりクルーズ。60分間で見られた船は、丁度寄港していたロナルドレーガン原子力空母の勇壮な姿、複数のイージス艦他、頭を海上に出していた潜水艦2隻等、内1隻は白波をたてて走行していました。

見て楽しむのは良いのですが、この戦艦が活躍する時がない事を祈るばかりです。旅行社の人が言うことには、この場所は今人気があり、旅程確保に苦労し、日程が遅れたそうです。



「一泊親睦旅行記」

浦和支部 畑 佳一朗

令和元年10月9日〜10日の一泊で「関東三大師とみちのくの奥座敷・穴原温泉の旅」と題した親睦旅行を楽しんできました。

初日は「佐野厄除け大師」へ向かい、境内散策。そこから那須の

「お菓子の城・那須ハートランド」へ移動。昼食、製造ライン見学、買い物を楽しみました。また、この日は、施設の前庭で本場の「阿波踊り」が行われており、思わぬ催しも楽しむことができました。

次は試飲が楽しめる酒造見学。「奥の松酒造」で製造ライン見学と買い物。夕方四時過ぎには穴原温泉「吉川屋」に到着。

一休みした後、大広間でお楽しみ宴会。余興で大盛り上がりの中、美味しい食事とお酒を頂きました。

翌朝は八時半出発、リンゴ園訪問、日本三大まんじゅうの一つ「柏屋薄皮饅頭」で買い物。

そこから今回の旅のサブテーマ

でもある東日本大震災・豊間地区、復興の様子と美空ひばり歌碑もある「塩屋岬灯台」を見学。

小名浜港で昼食の後、「いわき・ら・ら・らミュウ」で海産物の買い物。帰りの車中はビンゴを楽しみながら帰着、無事に楽しい旅を終えました。

今回は天気良し、食事良し、旅館良し、余興大盛況の中、21人参加で一泊の親睦旅行を楽しむことができました。



「研修旅行・埼玉県内の旅」

与野支部 山内 忠義

親睦互助会与野支部では、本年度の定期総会で議決した事業計画を順次円滑に実施しております。

会員の親睦とコミュニケーション活性化を図るための研修旅行を、10月27日に「秩父・長瀨の神社、国宝妻沼聖天山と新一万円札洪沢栄一記念館を巡る埼玉県内の旅」として、実施しました。

バスが発車して間もなく「高齢者の交通事故防止」についてビデオ研修をやり、事故防止の認識を新たにしました。秩父神社、宝登山神社を巡り、昼食休憩は長瀨町の「養浩亭」で秩父の味を堪能。

台風19号の洪水が養浩亭のすぐ後ろまできた跡があり、洪水の恐ろしさをまざまざと感じました。妻沼聖天山では彫刻の素晴らしさと色彩の鮮やかさが強烈でした。

洪沢栄一記念館では洪沢栄一翁が銀行をはじめとする様々な事業を起こし、それらの事業が日本の近代経済社会の発展に大きく寄与、

偉大な貢献と、強く感じました。

11月2〜3日は中央区区民まつりに親睦互助会としてバザー用品を販売するとともに、役員は全員参加でシルバー人材センター会員の拡大に向け、チラシ等を配布し、宣伝活動を展開しました。

昨年5月の総会で、与野支部のモットーを「仕事を大事に、他人を大事に、自分も大事に」と決めましたので、今年も会員が皆これを実践しつつ「明るく元気で活動的な与野支部」づくりに、努めてまいります。



「秋の日帰り旅行」

岩槻支部 落合 詔夫つぐお

親睦互助会岩槻支部「みどり会」は、9月18日(水)に茨城県方面の旅行を行いました。心配された天候も思ったよりも良く、恵まれた旅行となりました。

参加者67名、バス2台での楽しみいっぱい気分、バスは一路茨城に向かって出発しました。

まず最初の目的地は北関東自動車道から茨城に入つてすぐの、「岩瀬農場」でのメロン狩り。自分が狩った大きな一個はお土産です。

今回参加の皆さんが驚いたことは、垂直に立てた支柱に伸ばした1本のツルに、一個のみメロンを丹精込めて育て、想像以上の立派なメロンが列をなしていたことです。その中から各自好みのメロンを狩り、頂ける楽しみがあります。

収穫した後で、美味しいメロンを試食し、達成感を味わった気分になりました。

次是那珂湊お魚センターでのお楽しみ昼食です。皆さん期待通り

の食事で、満面の笑顔を見ることができました。

お土産に新鮮なお魚を買って、次に「大洗めんたいパーク」を見学、買い物をして今日一日の日程は順調に進みました。

帰りの車中は、和やかな雰囲気です。親睦を深めながら、一路岩槻に向かってバスは進みました。

最後の休憩は新しく7月にオープンした蓮田SAに寄り、斬新なSA内を散策、楽しく思い出に残る秋の日帰り旅行は、岩槻駅西口に無事到着しました。



**今年も開催！入会促進事業
ホワイトコンサート**

さいたま市シルバー人材センターでは、(公財)さいたま市文化振興事業団のアウトリーチ事業に共催し、「60歳以上の方のためのホワイトコンサート」と題し、センター事業紹介と合わせた歌とピアノのコンサートを開催いたします。多くの市民にセンター事業を紹介し、会員増強や就業の場確保につなげます。センター事業に興味を持っていらっしゃる方や、会員になつていないお友達等にお声掛けいただけますようお願いいたします。



昨年度のコンサートと事業紹介の様子

開催概要は、次の通りです。

日時… 2月24日(月・振替休日)

午後2時～4時

会場… 浦和ふれあい館

さいたま市浦和区

常盤9-30-22

申込… 1月7日(火)から

電話でさいたま市シルバー

人材センター本部事務所ま

で(先着順)

電話… 048(669)0303

※アウトリーチ事業とは、文化芸術活動の振興を目的として、公的機関や、公共的文化施設などが、プロのアーティストを地域へ出張させるサービスです。



**ちよみまなぶ仕事を
お返けつてます**

シルバー人材センターでは次のような仕事もお受けしています。

○空き家管理

さいたま市と協定を締結し、空き家の管理について所有者等の皆様のお役に立てるよう、空き家の除草、ツタの撤去、植木の伐採、空き家の見回りといった業務を承っています。

○講座講師

「成年後見制度」「消費者詐欺防止対策」「傾聴講座」「デジタル遺産」といったシルバー世代が「安心して」暮らすためのお手伝いとして講座の開催や、講師依頼を承っています。

○住宅用火災警報器の取り付け

住宅用火災警報器の交換・取り付け業務を承っています。合わせて警報器の買い物代行もいたします。

表紙の言葉

「岩槻中心市街地より望む
大宮市街と富士山」

世界遺産にも登録されている日本を象徴する山・富士山は、さいたま市内からでも沢山のビューポイントがあります。

今回は岩槻中心市街地より望む大宮市街に、富士山が一直線上に聳えた姿を望遠レンズで捉え、令和二年の新年を祝います。

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は、天皇陛下の即位、そして今年は、オリンピック・パラリンピックの開催と、一大イベントが続きます。

一方、甚大な災害も頻繁におきる昨今ですが、会報37号は会員の方々及び発注者の皆様にご協力いただき、発行することができました。

今年は、平穏な一年でありますことをご祈念申し上げます。

(編集委員会)